

様式第 1（第 2 条）

* 整理番号	
* 審査結果	
* 受理年月日	年 月 日
* 登録番号	

登録電気工事業者登録申請書

年 月 日

中国四国産業保安監督部長 殿

住 所
氏名又は名称
法人にあっては
代表者の氏名

電気工事業の業務の適正化に関する法律第 3 条第 1 項の登録を受けたいので、同法第 4 条第 1 項の規定により次のとおり申請します。

1. 営業所等

営業所の名称	所在の場所	電気工事の種類	主任電気工事士 等 の 氏 名	電気工事士免状の 種類及び交付番号

2. 法人にあっては、その役員の氏名

- (備考)
- 1

この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
- 2

* 印の項は、記載しないこと。
- 3

電気工事の種類欄には、「一般用電気工作物等」又は「自家用電気工作物」を記載すること。
- 4

主任電気工事士等の氏名欄には、その者が法第 19 条第 2 項に該当する場合にあっては* 印を付すること。
- 5

自家用電気工作物に係る電気工事のみを行っている営業所については、主任電気工事士等の氏名欄及び電気工事士免状の種類及び交付番号欄には記載することを要しない。
- 6

経済産業大臣の登録を受けようとする者にあっては、登録免許税の領収証書を裏面にはり付けること。

誓 約 書

年 月 日

中国四国産業保安監督部長 殿

住 所
登録申請者 氏名又は名称
法人にあつては
代表者の氏名

当社及び当社の社員は、電気工事業の業務の適正化に関する法律第6条第1項第1号から第5号までに該当しない者であることを誓約いたします。

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
代表取締役		取 締 役			
				監 査 役	
				監 査 役	

誓 約 書

年 月 日

中国四国産業保安監督部長 殿

住 所
名 称
代表者の氏名

下記の営業所に置く主任電気工事士は、電気工事業の業務の適正化に関する法律第6条第1項第1号から第4号までに該当しない者であることを誓約いたします。

記

営業所の名称	主任電気工事士の氏名	電気工事士免状の種類及び交付番号

雇 用 証 明 書

年 月 日

中国四国産業保安監督部長 殿

住 所
名 称
代表者の氏名

下記の者は、当社の従業員（役員）であることを証明いたします。

記

主任電気工事士の氏名	
住 所	
生 年 月 日 ・ 年 齢	
雇 用 年 月 日	

(様式例 1) ※主任電気工事士が登録申請者に雇用されている場合又は登録申請者本人の場合

主任電気工事士等実務経験証明書

(1) 登録申請者本人

下記 1 の電気工事士は、(2) 登録申請者の役員 であり、下記 2 のとおり、電気工事に従事して

(3) 登録申請者の従業員

いることに相違ありません。

年 月 日

中国四国産業保安監督部長 殿

住 所
登録申請者 氏名又は名称
法人にあつては
代表者の氏名

記

1 電 気 工 事 士	電気工事士の氏名		
	生年月日・年齢	年 月 日・年齢 才	
	現住所	〒 ー	
	電気工事士免状の交付年月日	年 月 日	
	免状交付番号	知事第 号	
2 電気工事士が登録申請者の行う電気工事に従事した職歴			
所 属 名		期 間	業 務 の 内 容
		年 月 日～ 年 月 日	※第 2 種電気工事士の資格しかない者が主任電気工事士となる場合には、合計 3 年以上の電気工事の内容を具体的に記載すること。 複数枚にわたる場合は、ホッチキス止めした箇所等を代表者印で割印すること。

(記載注意)

- この様式の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
 - この証明書は、被証明者 1 人につき作成すること。
 - (1)登録申請者本人、(2)登録申請者の役員、(3)登録申請者の従業員については、該当するものを○で囲むこと。
 - 所属名は、○○営業所○○担当というように具体的に記入すること。
 - 業務の内容は、○○施設の屋内配線工事の施工業務等を具体的に記入すること。
- なお、主任電気工事士の職歴のある者については、その旨を明記すること。

(様式例 2) ※主任電気工事士が他の電気工事業者等に雇用されていた場合

主任電気工事士等実務経験証明書

下記 1 の電気工事士は、下記 2 のとおり、電気工事に従事していることに相違ありません。

年 月 日

中国四国産業保安監督部長 殿

住 所
証明者 氏名又は名称
法人にあつては
代表者の氏名

記

1 電 気 工 事 士	電気工事士の氏名		
	生年月日・年齢	年 月 日・年齢 才	
	現住所	〒 ー	
	電気工事士免状の交付年月日	年 月 日	
	免状交付番号	知事第 号	
2 電気工事に従事した職歴			
所 属 名		期 間	業 務 の 内 容
		年 月 日～ 年 月 日	※第 2 種電気工事士の資格しかない者が主任電気工事士となる場合には、合計 3 年以上の電気工事の内容を具体的に記載すること。 複数枚にわたる場合は、ホッチキス止めした箇所等を代表者印で割印すること。
3 証明者の事業内容			

(記載注意)

- この様式の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
 - 所属名は、〇〇営業所〇〇担当というように具体的に記入すること。
 - 業務の内容は、〇〇施設の屋内配線工事の施工業務等を具体的に記入すること。
- なお、主任電気工事士の職歴のある者については、その旨を明記すること。

【記載例】主任電気工事士等の実務経験証明書の記載例（様式例 1 又は様式例 2 の職歴について）

※第 2 種電気工事士免状のみ交付を受けている者が主任電気工事士となる場合には、以下の記載例を参考に、実際に行った電気工事の内容（合計 3 年以上）を具体的にすべて記載すること。

2 電気工事士が登録申請者の行う電気工事に従事した職歴（又は電気工事に従事した職歴）		
所属名	期 間	業 務 の 内 容
●●電気 工事(株)	(平成●●年) ●●月●●日～●●月●●日 ●●月●●日～●●月●●日 ●●月●●日～●●月●●日 ●●月●●日～●●月●●日 ●●月●●日～●●月●●日 ●●月●●日～●●月●●日 ●●月●●日～●●月●●日 ●●月●●日～●●月●●日 ●●月●●日～●●月●●日 ●●月●●日～●●月●●日 ●●月●●日～●●月●●日 ●●月●●日～●●月●●日 ●●月●●日～●●月●●日 ●●月●●日～●●月●●日 ●●月●●日～●●月●●日 . . .	左記の年に、一般用電気工作物等の新設、増築等の改修工事について、作業員として従事し、主に屋内配線工事、○○○○や○○○○に係る配線器具や○○○○の取付けを行った。 ○○邸宅(○○町)(新築) 受電電圧 100/200V ○○邸宅(○○町)(新築) 受電電圧 100/200V ○○邸宅(○○町)(新築) 受電電圧 100/200V △△邸宅(△△町)(改築) 受電電圧 100/200V △△邸宅(△△町)(改築) 受電電圧 100/200V △△邸宅(△△町)(改築) 受電電圧 100/200V ○○邸宅(○○町)(新築) 受電電圧 100/200V ○○邸宅(○○町)(新築) 受電電圧 100/200V ○○邸宅(○○町)(新築) 受電電圧 100/200V △△邸宅(△△町)(改築) 受電電圧 100/200V △△邸宅(△△町)(改築) 受電電圧 100/200V △△邸宅(△△町)(改築) 受電電圧 100/200V . . .

備 付 器 具 調 書

営業所名：_____

器具名	製造事業者名	型式製造番号	製造年	台数
絶縁抵抗計				台
接地抵抗計				台
抵抗及び交流電圧を 測定できる回路計				台
低圧検電器				台
高圧検電器				台
継電器試験装置				台
絶縁耐力試験装置				台

注：営業所ごとに作成すること。

継電器試験装置及び絶縁耐力試験装置を他の者等から借り受ける場合

(記載例)

電気器具使用に関する取決書

令和〇年〇月〇日をもって〇〇〇〇株〇〇営業所備付けである下記の電気器具は、〇〇〇〇株△△営業所より使用申込みのあった場合、必要に応じて随時貸与するものと取決めする。

但し、〇〇営業所と△△営業所が下記の電気器具使用について競合する場合は、そのときに両者間で調整することとする。

記

1. 貸与物件
- (1) 継電器試験装置
- (2) 絶縁耐力試験装置

令和〇年〇月〇日

〇〇〇〇株式会社	代表取締役	〇	〇	〇	〇	印
〇〇〇〇株式会社	〇〇営業所所長	〇	〇	〇	〇	印
〇〇〇〇株式会社	△△営業所所長	△	△	△	△	印

提出書類等【登録電気工事業者登録申請】

●提出書類等（白丸を黒く塗りつぶしながら提出書類をご準備下さい。）

- 様式第 1（登録電気工事業者登録申請書） ※注釈 1
- 誓約書（事業所及び役員）
- 誓約書（主任電気工事士）
- 雇用証明書
- 主任電気工事士等の実務経験を証する書面 ※注釈 2
- 備付器具調書（借り受ける場合は取決書も） ※注釈 3
- 登記事項証明書（法人である場合に限る）
- 営業所の位置図
- 登録免許税納付領収証書 90,000円 ※注釈 4

※注釈 1 様式第 1（登録電気工事業者登録申請書）について

- ・「1. 営業所等」欄にすべて記載できない場合は、別紙で提出のこと。

※注釈 2 主任電気工事士等の実務経験を証する書面について

- ・主任電気工事士が第 1 種電気工事士である場合
→電気工事士免状の写し
- ・主任電気工事士が第 2 種電気工事士である場合
→電気工事士免状の写し及び以下①②のうちいずれか

①主任電気工事士実務経験証明書

- ・主任電気工事士が登録申請者本人、登録申請者の役員、登録申請者の使用人である場合…様式例 1
- ・申請者以外が証明する場合…様式例 2

②各都道府県電気工事業者組合その他の電気工事業に係る法人格を有する団体が発行する実務経験を証する書面

※注釈 3 備付器具調書

- ・低圧検電器、高圧検電器、継電器試験装置、絶縁耐力試験装置については自家用電気工作物の電気工事を行う場合に必要。（一般用電気工作物等の電気工事のみ行う業者についてはこれらの器具は備付不要）
- ・継電器試験装置、絶縁耐力試験装置については、同業者や工業組合等との賃貸契約又は他の営業所からの持ってくるができる等、必要なときに準備できることを証する書類（取決書）を用いて備え付けられているものと判断することができる。

※注釈 4 登録免許税の納付方法等について

- ・**広島東税務署**（広島市中区上八丁堀 3 番 19 号）に所定の納付書により納付し（日本銀行（本店・支店・代理店・歳入代理店（郵便局を含む））からも納付可能）、領収印が入った領収証書（納付書の 3 枚目）を様式第 1 の裏面に貼り付けること。
（参考）税目番号：「221」、税務署名「広島東」、税務署番号「00045013」

※ 連絡先について

- ・記載内容について確認させていただく場合がありますので、「登録電気工事業者登録申請書」の欄外に鉛筆書きで、担当者氏名と連絡先（電話番号等）を記入してください。